



夏休み！  
夏の寺子屋子ども会  
9町内地蔵まつり



季刊

覚法寺

〒862-0956  
熊本市中央区水前寺公園 1-25  
電話 (096) 383-4874  
FAX (096) 383-3050  
kakuhouji@eagle.ocn.ne.jp  
http://www.facebook.com/kakuhouji  
お問い合わせ  
参拝部：電話 (075) 371-5181  
覚法寺：電話 (096) 383-4874



©2010 熊本県くまモン  
熊本県 SDGs 登録事業者



江津湖でおにぎりを食べました。



9町内の地蔵盆のお参り



おやつ時間

8月4日に「夏の寺子屋子ども会」と、今回初めて地元である出水校区9町内の「お地藏まつり」とコラボレーション企画にて開催いたしました。

例年の夏休みの子ども会も、昨年まではコロナウイルス感染防止の影響で、一昨年までは中止、昨年は少人数で行ってまいりました。今年はいよいよことさらに昨年以上に沢山の参加者が集まり、昔のような活気が戻ってまいりました。

午前中に近くの江津湖へ移動し、軽いランチタイムの後、子どもさんたちは江津湖の冷たい水で水遊びを興じまして、午後には覚法寺へ戻り、お寺の中にある9町内のお地藏さんに盆法要をし、お参りを致しました。最後は9町内さんのご厚意により、バーベキューとかき氷を提供し、子どもさんたちも満腹でした。有意義に非常に楽しんで解散いたしました。

住職雑記

いまだ京都大学でAI(人工知能)により、お釈迦様(ブツダ)がインターネットで悩みや相談に答える「ブツダボット」と言われるものが開発されています。「ブツダボット」とはブツダとロボットの掛け合わせた造語ですが、このブツダボットがチャットGPT応用により更に進化して「ブツダボットプラス」となり、以前の多少頓珍漢な解答からよりの確な解答をするようになったそうです。▼大阪のオバちゃんはなぜ飴ちゃんをあげるの?という解答に、旧ブツダボットは「そのすばらしい教えを行動に移して実行しないから」という飛躍しすぎた謎な解答でしたが、新ブツダボットでは「人との交わりから生まれる愛着や親しみからだ」と割と地に足がついたような解答に進化したそうです。▼しかしこれが更に進化したとしても、すべての悩みをAIロボットで解決できるといふことは恐ろくないでしょう。人の悩みは単に明確な解答を求めているだけではなく、人が人の気持ちを受け止めてもらう傾聴ということ、和らぐことがあるからです。それはロボットには難しいように思います。



覚法寺歓喜会・盂蘭盆会法要

八月十六日(水)は、覚法寺の歓喜会(盂蘭盆会)の法要が、お勤めされました。

午前十時より京塚納骨堂の前で住職さんと職員でお勤めをしました。十名程のお参りでした。

午後一時より覚法寺の無量寿堂・納骨所の各階にてお勤め。引き続き、仮の本堂で讚仏偈(律曲)のお勤めがありました。今年に住職さんがご法話をされました。



お釈迦さまの十大弟子の一人と讃えられた目連尊者は、さまざまな事柄を知り通す神通力を体得されていきました。ある時、自身の亡き母はどのような世界に往かれたのであろうと心配になった尊者は、神通力でさまざまな世界を見通されました。その時、とても優しかった母親が、餓鬼(むさぼり)の世界に堕ちて苦しんでいる姿をご覧になったのです。その姿は痩せ衰え、飲むことも食べることもできずに、骨と皮だけになった哀れなものでありました。

餓鬼の苦しみは、例えるならば人間を逆さまに吊るす時の苦しみと同じだといわれます。というのも「盂蘭盆」の原語である「ウランバナ」には、「逆さ吊り(倒懸)」という意味があるからです。

尊者はなんとか母を苦しみから救おうと、鉢にご飯を盛り、神通力で餓鬼の世界におられた母親のもとに向かわれて、鉢を渡されました。ところが、母親が口にしようとする、その食べ物燃えあがって炭となり、食べることができません。号泣された尊者は、どうしても母親を救いたくしてお釈迦さまのもとを訪ね、ことの次第を話されました。するとお釈迦さまは、「汝の母の罪は深く、汝一人の力では母を救うことはできない。しかし、雨安居(雨季の修行期間)の最終日(七月十五日)に、多くの僧侶が修行を終えて外に出てこられる。その時に、僧侶方にごちそうして供養しなさい。ただし、汝の母の解放を願うだけではいけない。汝の母のみならず、七代にわたる祖先にいたるまでの多くの方々が、苦しみから解放されるように願い、徳を積むように」と仰せになったのです。

それにしたがって、亡き母は天上界(迷いの世界でありながら、人間界よりは良いとさ

れる世界)へ生まれ変わったといわれます。

『仏説盂蘭盆経』より 盆踊りのルーツは、目連尊者のお母さんの救われた姿が、天に舞う天女のようにであったとか、尊者が母の救いを跳びあがって喜んだ姿であると伝えられています。

しかしこのお話には、何故に尊者の母親は餓鬼の世界に堕ちていったのか、何故に尊者は神通力がありながら母を救うことができなかったのか、何故にお釈迦さまは多くの僧侶に布施を命じられたのかといった疑問が残ります。

もしかすると、貧しい時代、尊者の母親は我が子を育てるために、他の子どもたちを邪険にしていたのかもしれない。また、尊者自身も自分の母親だけの救いとらわれて、苦惱する一切の人々を共に救うという広い心が欠けていたのかもしれない。だからこそお釈迦さまは、多くの僧侶に布施をすることとを命じ、またこの経典の最後にあるように、「仏・法・僧の三宝の功德のはたらきが、未来世の救いの道でもある」といわれたのでしよう。ところで、浄土真宗のお盆は、尊者のように自力の追善供養をなすものではありません。父母・祖先の恩を思わせていただくことをご縁に、真の仏・法・僧による救いとは、一切の人々を平等に救い取って捨てないという阿弥陀如来さまの恩徳であることを喜んできたのです。そこで、お盆のことを「歓喜会」とも称しています。

既に亡くなられた親しき人々が、この私に如来さまのご縁に遇わせてくださり、この私を真の救いに遇わせ、南無阿弥陀仏とお念仏申す身へと導いてくださったと、そのご恩を思うお盆でもあります。

(本願寺出版社「お盆」龍谷大学教授武田晋)



熊本仏教社年会

四月十五日(土) 十六日(日)

本願寺御影堂にて、親鸞聖人御誕生850年、立教開宗800年慶讃法要記念第二十四回全国仏教社年会大会が開催されました。前回大会がコロナ感染拡大により中止になり、六年ぶりの開催でした。今大会のテーマは、「聖人のみ教えつないでお念仏申す朋友の輪」でした。親鸞聖人の立教開宗のご恩に深く感謝し、自他ともに心豊かに生きる事のできる社会の実現にむけた取り組みこそが、仏教社年会の原点ではないかと思えます。当日大雨でしたが、熊本教区から十二名の参加をいただき感謝します。覚法寺では毎月仏教社年会を開催しています。今年は『御文章』(蓮如上人のお手紙)を拝読する勉強をしています。是非一度ご参加ください。新しい御縁があります。合掌 (陣内 巧)



親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年慶讃法要 参拝記念



覚法寺仏教婦人会

蓮華の会だより



私達の主な活動

・・・(夏より初秋へ)・・・

新型コロナの位置付けが5類型に移行してから早5ヶ月が過ぎました。少しずつではありますが、元の生活に戻りつつあります。「蓮華の会」も皆様の心の拠り所となりますよう活動していきますので宜しくお願いいたします。
※婦人会(蓮華の会)会員随時募集中です。どなたでも興味のある方は、お寺までお問合せ下さい。



- 蓮華の会(16日)
  - お勤めの後、盂蘭盆会についての講話(法務員)



- 夏の子ども会(4日)
  - 約30名の小学生・中高生(お手伝い)の子ども達と一緒に江津湖に行ったり(20年ぶり)9町内の地藏盆、おやつ(パーベキューや、かき氷など)を食べて楽しい時間を過ごしました。

- 盂蘭盆会法要(16日)
  - 無量寿堂・納骨堂にてお勤めの後、本堂にて歓喜会・盂蘭盆会法要引き続き、覚法寺住職の法話 & 歎異抄ビデオ(釋 徹宗師)



- 蓮華の会(16日)
  - お経本のカバー作り
    - 自宅にある綺麗な包装紙を使って、個性豊かな素敵なカバーが完成しました。
- 22日~23日
  - 秋季彼岸会・永代経法要が本堂にて勤修されました。

『観無量寿経作法/阿弥陀経作法』
【ご講師】観乗寺 森島 淳英 師
※工事のため、お昼のお齋は中止となりました。



遊びに来ていた子供たちと一緒に



本堂のお経本も綺麗になりました



熊本市の中学生が  
ナイストライでお寺の仕事体験



熊本市教育委員会推奨行事の一環で、熊本市内の中学校では様々な事業所でそれぞれの職場体験をしよう「ナイス

トライ」という行事があります。

この度は出水南中学校から学生さんが数名、3日間お寺のお仕事体験で参加されました。実際に仕事を学べる体験なので、普段お寺でしている仕事をそのまましてもらいました。

お寺の各所の清掃から、仏華のお花替えなどお給仕。お彼岸などの案内状の作成仕分けに、朝夕のお



仏華のお花替え



朝6時30分より朝の勤行

十月からのお勤め(晨朝)の  
時間が七時になりました。

勤めとお経体験など、沢山の仕事を手伝ってもらいました。きっと将来何かの役に立つでしょう。

覚法寺では普段から近所の小学生や中学生の学童さんが、夕方の勤めをしてもらっています。今回はナイストライの学生さんと一緒に勤めを致しました。写真は朝の勤行風景です。

ダーナ基金だより

日頃よりダーナ基金へご協力ありがとうございます。

今回は国境なき医師団「ウクライナおよび近隣諸国医療援助」へ5万円、7月の熊本県豪雨にて本堂が全壊しました益城町浄恩寺へ5万円、また浄土真宗本願寺派たすけあい募金「ハワイ・マウイ島大規模火災義援金」へ5万円、合計15万円を寄付致しました。

昨今は世界中であまりに多くの紛争や大規模災害が頻発しておりますので、これまで募金いただきました「ダーナ基金」では足らなくなりました。どうぞ今後ともあなたのささやかなお気持ちを届けください。

お寺の本堂入り口に募金箱を設置しております。  
(はちすの会ダーナ基金係より)

お参りください

報恩講法要

十一月二十三(木)、二十四(金)日、覚法寺本堂において報恩講法要をお勤めいたします。ご講師は湯前町明導寺の藤岡教頭先生です。

今年も二日間の日程です。お齋は中止ですが、お持ち帰り用に粗飯かお茶菓子を用意いたします。

元旦会法要

令和六年一月一日(月)午前七時より本堂で正信偈のお勤めがあります。引き続き納骨所にて一座法要。お屠蘇のご接待は中止です。

御正忌報恩講

令和六年一月九日(火)より十六日(火)まで、京都の本願寺で御正忌報恩講がとまります。



毎日夕方4時に、お内仏前で、遊びに来ている子供たちが「重誓偈」のお勤めをしてくれます。

毎月16日7時 (宗祖親鸞聖人の御命日)  
お寺に参ろう。門信徒総参拝

趣味の写真集や自分史を作ってみませんか?  
1冊よりお作り致します。



PRINTING & COPY

株式会社 太陽社

- 企画印刷
  - 一般印刷物
  - カラーコピー
  - データ入力
- 〒862-0972 熊本市中央区新大江2-5-18  
TEL 096-366-1251  
FAX 096-364-7672

http://www.taiyo-sha.net

寺院仏具修復・納骨堂設計・施工  
(宗教用具専門店) 仏壇・仏具・修復・修理



お仏壇の 合掌

〒860-0073 熊本市西区島崎5丁目4-37  
(三軒屋バス亭前)

TEL FAX 096 (359) 7720